



株式会社 立花エレテック

CORPORATE PROFILE

立花エレテック 会社案内



「製品」と「技術」をトータルで提供する技術商社

私たち立花エレテックの創業は、1921年にまでさかのぼります。現在に至るまでに、単に機器を販売するだけでなく、技術サービスを付加して提供する電機・電子の技術商社として進化。「製品」と「技術」のトータルエンジニアリングで今日まで歩んできました。今では、「FAシステム事業」「半導体デバイス事業」「施設事業」「MS事業」「海外事業」の5つの事業で、日本のものづくりを支えています。

当社の強みは、長い歴史のなかで連続と培われてきた技術力とコンサルティング力にあります。技術的な視点からお客さまのニーズを的確に分析し、最適なソリューションを導き出すことができます。私たちは、2021年9月に100周年を迎えたのちも、一歩先をゆく柔軟な姿勢で社会の変化に対応し続け、次の100年をめざします。

FAシステム事業

FA機器部門

FAシステムソリューション部門

産業メカトロニクス部門

産業デバイスコンポーネント部門

事業ドメイン

半導体デバイス事業

施設事業

MS事業

海外事業

Index

企業理念	01
トップメッセージ	03
事業概要	05
導入事例	07
ESG(環境・社会・ガバナンス)	11
沿革	13

次の100年も、社会の発展に 貢献を。

立花エレテックは2021年9月1日に創業100周年を迎えました。これもひとえに、お客さま、株主さま、お取引先さまなどすべてのステークホルダーの皆さまのご支援の賜物であり、深く感謝申し上げます。

1921年の創業以来、電機・電子の技術商社として活動してまいりました。

次の100年で、本格的なデジタル社会が到来すると考えております。変貌する未来社会に適応し、次の100年も社会から必要とされる企業であるために、従来の取り扱い製品に加え、情報機器を駆使したアプリケーション技術も併せて供給できることが今後の「技術

商社」に必要であると考えます。

国内で築いた「技術商社」としての地位を中国・東南アジアを中心とする海外でも確立し、「電機、機械、電子、情報を扱う技術商社」としてアジアのリーディングカンパニーを目指して挑戦していきます。

技術商社の在り方を常に見つめ直し、率先して社会に貢献していく企業となることが、厳しい経済情勢のなかで商社の勝者となる道であると私は考えています。

次の5つに特に力を入れ、当社の新しいブランドとすべく鋭意邁進してまいります。



代表取締役社長
渡邊 武雄

常にCS(お客さま満足)向上に取り組む

「選ばれる商社」でありたい。「立花エレテックだからこそ」とってお取引していただく企業であること、これがどんな環境でも生き残っていく商社の条件であると考えています。

「企業は人なり」総合的な人材育成を推進する

商社の根幹を支えるのは質の高い人材です。商品や技術の知識習得は当然のこと、社員一人ひとりの人間力を醸成する人材教育に力を入れています。それが、宿泊研修施設「立志館」での「人間道場」です。「人生の先達」から仕事、人生について分野を問わずに学ぶ場を提供しています。

エンジニアリングを深化させる

立花エレテックの強みは、電機・電子製品を幅広く扱っていること。これらを組み合わせたシステムを提案することで、お客さまのご要望の一步先を行くソリューションを提供することができます。商社でありながら開発に従事するエンジニアは全社員の4分の1にものぼり、日々、より良いシステムを提供するために切磋琢磨しています。

コンプライアンス、環境対応を軸にCSRに積極的に取り組む

会社は社会の公器。その器にあった責任を果たしていかなければなりません。省エネ、環境対応製品を取りそろえ、安全管理や品質管理に関するシステム構築に数多く携わってきた経験をもとに、お客さまのCSR推進をお手伝いすることが立花エレテックのできる最大のCSRだと考えています。

加工ビジネスとオリジナル製品の開発に取り組む

仕入れて売るだけではお客さまの多様なご要望に応えきれません。部品を組み合わせ、モジュールやユニット、コンポーネントにできるのが立花エレテックです。EMS(エレクトロニクス・マニユファクチャリング・サービス)やMMS(メタル・マニユファクチャリング・サービス)を手掛けられるのは技術商社だからこそです。

社会・産業における技術革新を 支え、ものづくりの進化に貢献



FAシステム事業

今や、日本のものづくりの現場に欠かせないFAシステム。当社は、高圧・低圧受配電機器、動力機器のほか、生産現場に不可欠な現場支援・省エネ支援機器を提供するとともに、こうした機器類に管理、制御、計測、検査の各技術を組み合わせてお客さまに提案。経験豊富なセールスエンジニアが、機器一つから工場全体のシステムに至るまで細やかに対応し、ともに課題解決に取り組みます。

FA機器部門

各種FA機器を販売。効率的な受配電や省エネ、空調・照明計画、生産機器の追加変更、新機種にも対応します。

FAシステムソリューション部門

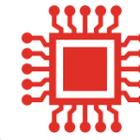
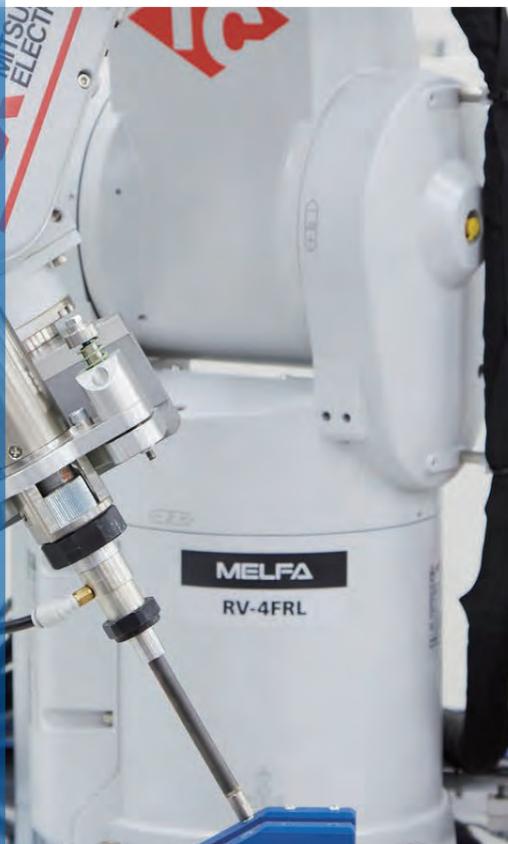
ロボットの販売とともに、生産設備を監視、計測、制御するシステムをご提案。製造現場の課題解決を支援します。

産業メカトロニクス部門

工作機器、3Dプリンタ・スキャナを販売。3D造形普及のための活動にも力を注ぎ、技術革新に貢献しています。

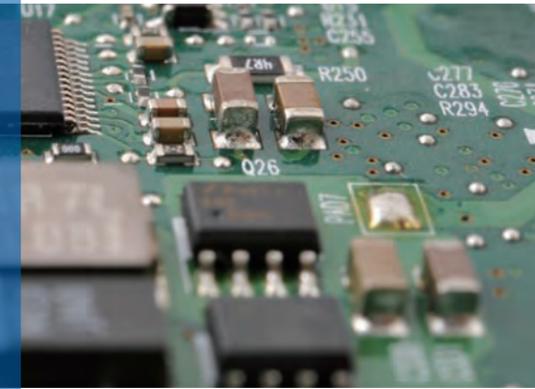
産業デバイスコンポーネント部門

入出力機器やFAパソコン、ネットワーク機器等と制御技術、情報技術を融合し提供。工場の進化を支えます。



半導体デバイス事業

半導体技術本部を設置し、お客さまのニーズにあわせた高集積度の半導体やデバイス製品を提供するだけでなく、マイコンのソフトウェアやカスタムLSIの開発支援、各種半導体デバイスの開発にも注力。システムコンサルタントとしてトータルサポートを行っています。



施設事業

ビル、工場、住宅、ファシリティーといった施設環境の最適化を図るため、冷熱関連設備や住宅関連設備、電気関連設備、環境・防災関連設備などに対応する最新の製品やシステムを販売・提案。日々の生活と産業を豊かにする、安全で快適な環境づくりに貢献しています。



MS事業

電子機器製造受託サービス(EMS)、金属加工製造受託サービス(MMS)を提供し、お客さまのものづくりを支援。電子機器製造と金属加工に関わる小ロットから大ロットまでの生産に対応しています。設計から納入・物流までワンストップでサービスを提供できるのが強みです。



海外事業

海外子会社の持株会社「立花オーバースーズホールディングス社」を香港に開設し、アジアの主要国にも拠点を置いて事業を展開。電子部品や材料、電子機器の販売や、それらの国内外の工場への調達・供給を行うとともに、お客さまのアジア進出も強力にサポートしています。



工場、物流システムにおける導入事例

立花エレテックは、製造現場・物流現場でのシステム構築に長年携わってまいりました。最適な機器を効率よくシステム化することで、無駄のないラインを設置できるだけでなく、目配りの行き届く安全な稼働を実現いたします。

太陽光発電システム

個人住宅向けや大規模発電設備から普及拡大してきた太陽光発電システムは、今後、工場や事業所への導入が本格化してまいります。立花エレテックは施工のための構造計算からシステム設計、施工、メンテナンスまで一貫した取り組みでお客さまのCO2削減をサポートします。

受変電設備 配電設備

電力会社から供給される高圧の電力を、工場やマンション等の施設に合わせた低圧の電力に変換し、分配します。

スマートグラスを活用した 遠隔作業支援

現場の作業者がスマートグラスを装着し、作業者が見ている映像を遠隔地の管理者と共有することで、現場に同行しているかのような確かな指示を出すことができます。出張の時間と費用の削減にもつながります。

製造実行システム

工場の生産計画から、製造工程、エネルギー管理まで工場全体の一元管理を実現。



3D技術を活用したものづくり



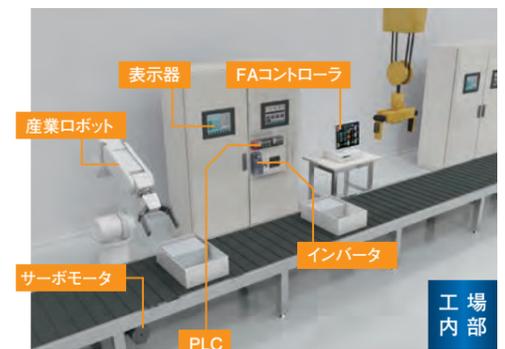
画像認識ソリューション

リアルタイムデータ分析で製品の強度・精度の判別が可能。自己分析AIにより、トラブルを未然に防止し、検査精度の向上と省人化を実現します。



FAシステム

製造現場で使用される個々の機器の納入はもちろんのこと、的確な駆動・制御を管理するシステムの構築もお任せいただけます。



PLC (Programmable Logic Controller) とは、工場などの自動機械を制御する信頼性の高い小型コンピュータのこと。

セキュリティシステム

認証作業での交通渋滞を解消するため、読み取り距離の長いUHF帯ICタグを使用した車両入退場システムを構築。

自動倉庫システム

古くなった管理システムを最新のパソコンとデータベースにリニューアル。既存システムの資料がなくても実現。

オフィスビル、スーパー、駐車場における導入事例

立花エレテックは、工場・倉庫等の産業用設備ニーズに応えるだけでなく、事務所やショッピングセンター等の生活空間に近いところでもソリューションを提供しています。消費者の方の目に留まることはあまりありませんが、表に出ない裏側でも活躍しています。

各種空調冷熱機器 ロスナイ

室内の空気と室外の空気を熱交換させ、効率的な省エネ換気を実現するロスナイと、省エネ・省工事の各種空調冷熱機器で各施設の快適空間を実現します。



照明器具

屋内環境で欠かすことのできない照明器具においても、立花エレテックでは充実したラインアップを基に、最適な空間づくりをお手伝いします。特に消費電力が少なく寿命の長いLED照明は、発熱量が少ないため室内温度の上昇を抑えるメリットもあります。お客様の用途に応じた最適な照明器具をご提案いたします。



監視カメラシステム

高性能、豊富な拡張性に優れた監視カメラシステムにより、セキュリティ強化から内部統制まで実現します。システム提案や安心の保守サポートも提供いたします。

太陽光発電(BCP対策)システム

太陽光発電と蓄電池や電気自動車を連動させることで、停電が発生しても、継続して電気を供給することが可能に。BCP(事業継続計画)策定にも対応する事が可能です。



製品群

- ・太陽光パネル
- ・蓄電池システム
- ・V2H
- ・急速充電器

半導体デバイス

半導体デバイスは、電気製品の心臓部を担っており、高性能・高機能化に大きく役立っております。立花エレテックは、各種半導体の調達・供給から半導体に関わる組込型のソフトウェア開発、ASIC開発等の技術サポート、さらにはEMSまで幅広く、グローバルにサポートできる体制を整えています。



製品群

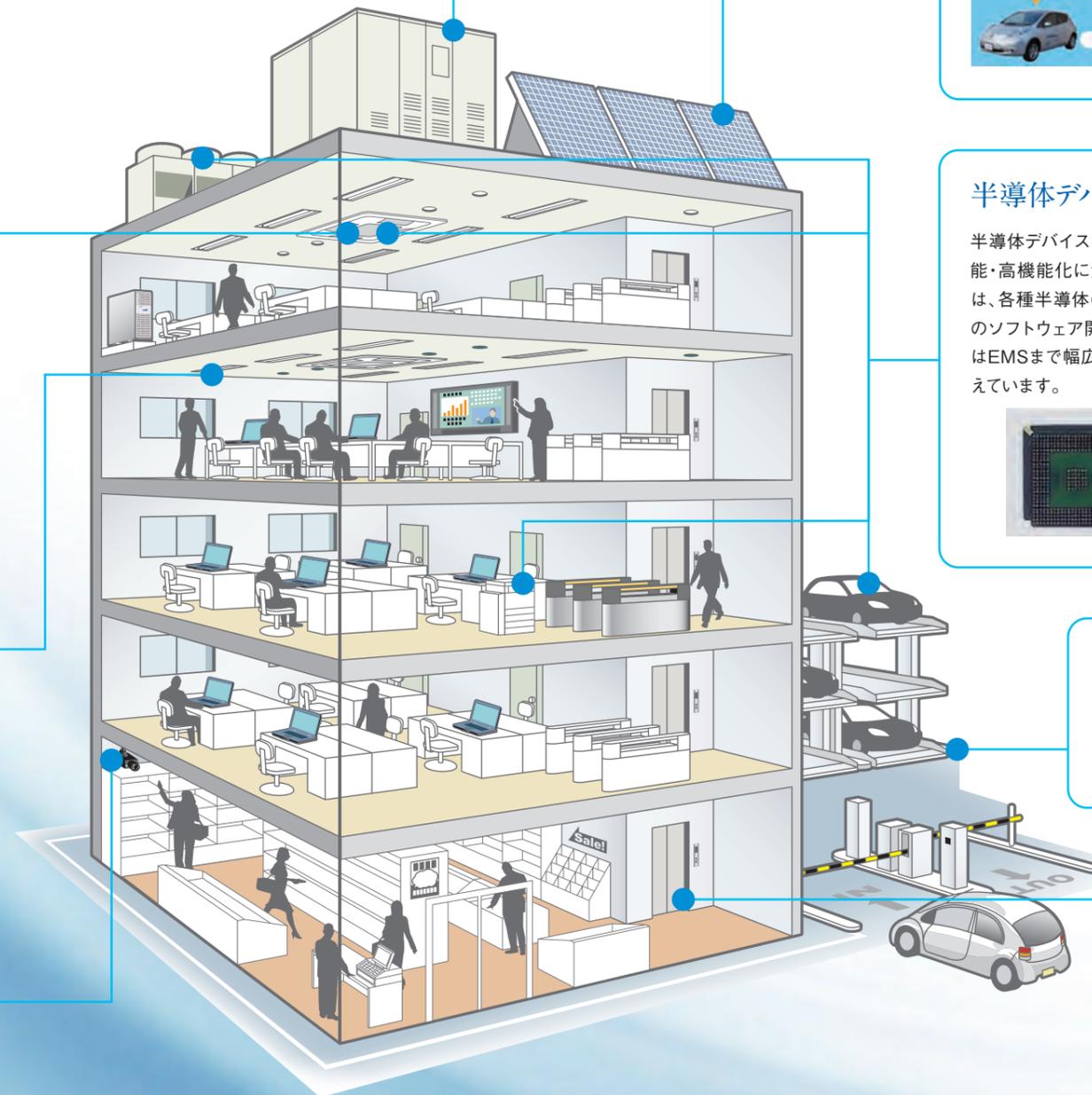
- ・マイクロコンピュータ (機器の制御用に各種)
- ・パワーデバイス (インバータ用など各種)
- ・IC、トランジスタ、ダイオード等のアナログ半導体
- ・フォトカプラ、LED等の光半導体
- ・FPGA等のシステムLSI
- ・SDカード、IC等のメモリ
- ・液晶等の表示デバイス

立体駐車場システム

立体駐車場に使用する金属部品やパレットは、立花エレテックのMMS(メタル・マニュファクチャリング・サービス)が得意とするところ。駆動に欠かせないモータは、創業期から扱っている製品です。

エレベーター

人の移動や荷物の搬送など、あらゆる場面で活躍するエレベーターを提供しています。



人を大切にし、事業を社会に還元。持続可能な社会を目指す。

Environment (環境)

環境問題の解決に具体的アクションで対応

当社は、環境問題が長期にわたる地球的規模の課題と捉え、健全な事業活動を通じて持続可能な社会の実現に向け努力することを基本理念に掲げています。そのため、2001年からISO14001を国内事業所などで認証取得。環境マネジメント体制を整備し、社長をトップとした体系

のもと年間計画を立てて全社でPDCAによる改善を図っています。また、事業活動内での取り組みとともに、地域社会と連携した啓発活動なども積極的に実施し、具体的なアクションを通して課題解決の実現を目指しています。

事業における取り組み

当社の取扱商品の95%は、電気・電子機器における特定有害物質の使用制限に関するEUの法律「RoHS指令」に対応した製品となっています。さらに、独自の規定「製品含有化学物質管理規定」を設けるなどして適切な情報管理と品質管理を行い、お客さまの環境対応を支援しています。

省エネ支援機器やシステムのラインナップの拡充を図っているのも、当社の大きな特徴。太陽光発電やLED照明、リチウムイオン蓄電池、ホームエネルギーマネジメントシステム (HEMS)、モーター交換など、省エネや創エネ、

節電に役立つ製品・システムを提供し、そのサービス範囲はアジア地域にも広がっています。



【事例】関西空港にメガソーラーを納入

地域社会における取り組み

当社では、子どもたちを対象に、省エネや創エネ、節電などに対する関心を高めるための活動を積極的に実施。地域のNPOや児童施設など、さまざまな組織と連携しながら、地球環境への負荷軽減を実現する技術について、「環境出前授業」を通じて行っています。

【事例】環境出前授業



2019年度には合計3回実施し、約140名の親子が参加。風力や太陽光で発電して動かす模型自動車レースを行うなど、さまざまな工夫を施した体験授業を開催しています。

Social (社会)

幅広い今日的な課題の解決に社内外で尽力

当社では、従業員一人ひとりの多様な価値観を尊重。ワーク・ライフ・バランス、ダイバーシティ (多様性)、働き方改革といった今日的な課題に取り組み、メンタルヘルスケアを含む社員の健康管理体制の充実を図るなど、当社で働く従業員が幸せを実感できる環境づくりを進めています。同時に、社員教育にも注力。一人ひとりの成長をサポートする体系的な研修を実施し、組織の発展とともに目指す環境を整えています。

また、企業活動を通じて、社会の課題や環境問題の解決につながる製品の販売を積極的に実施。製造現場、自然災害、高齢者支援、交通安全、高度医療など、あらゆる分野で、技術商社としての経験や知見を生かした事業活動を行っています。地域との共生を図る貢献活動にも力を注ぎ、ともに歩む姿勢で、さまざまなプロジェクトに取り組んでいます。

【事例】実務事務職女性リーダー研修



2019年に発足した事務実務グループによる研修を実施。女性グループリーダー6名を対象に、2日間にわたって行われました。ディスカッションを通じて、グループ発足からの半年を振り返りました。

【事例】立花エレテック100周年記念の森づくり



創業100周年事業の一環として、持続可能な社会の実現を目指す「立花エレテック100周年記念の森づくり」がスタート。「大阪府アドプトフォレスト制度」を活用し、大阪府枚方市東部清掃工場周辺の自然緑地の保全活動を行っています。

Governance (ガバナンス)

顧客・株主との関係強化を図る施策を実施

株主・投資家の皆さまとの絆を深めるため、当社の最高意思決定機関である株主総会では、重要事項の決定や連結計算書類等の監査結果の報告を実施。さらに、各種決算説明会や会社説明会を活発に行うなど、IR活動による企業価値の向上に取り組んでいます。

加えて、より当社の状況や業績の理解を深めていただくために、「アニュアルレポート」「株主通信」といった冊子の発行や、テレビ、インターネットなどのメディアを通じた広報活動を展開しています。個人投資家向けのIR活動にも積極的に取り組み、本社が立地している大阪や東京にとどまらず、全国各地で説明会を開催。2018年度には株

主優待制度を設け、2020年度からは、継続3年以上保有の株主を対象に株主優待で贈呈しているQUOカードの金額を増額しました。今後も事業内容や企業の理念を伝えることでファン作りに力を入れていきます。



アニュアルレポート



株主通信



データシート

● History

お客さまとともに100年。技術 商社として、さらなる飛躍へ。

● 1921年

立花訓光が個人経営で電気関係製品の卸売業と電気工事業を目的として営業を開始



● 1925年

三菱商事(株)と特約店契約を締結



● 1947年

三菱商事(株)と特約店契約消滅、新たに三菱電機(株)と特約店契約を締結



● 1948年

株式会社 立花商会 設立



● 1957年

東京支店開設(現東京支社)



● 1961年

堺支店開設(現南大阪支店)
本社を大阪市西区に新築移転



名古屋支店開設(現名古屋支社)



● 1962年

三菱電機(株)との特約店契約を改め、代理店契約を締結



● 1963年

神戸営業所開設(現神戸支店)



● 1966年

町田営業所開設(現神奈川支店)



● 1974年

一般建設業、特定建築業の建設大臣許可を取得



● 1981年

北陸出張所開設(現北陸支店)



● 1982年

シンガポール駐在員事務所開設



● 1985年

大阪ソフトウェアセンター開設



● 1986年

株式を大阪証券取引所市場第二部特定指定銘柄(新二部)に上場



● 1988年

香港駐在員事務所開設



● 1990年

大阪証券取引所市場第二部銘柄に指定



● 1994年

本社ビルを新築

● 1997年

台湾駐在員事務所開設



● 2001年

ISO14001取得
株式会社立花エレテックに社名変更



● 2002年

上海駐在員事務所開設



● 2004年

東京証券取引所(市場第二部)に上場

● 2005年

東京証券取引所、大阪証券取引所(市場第一部)に上場



● 2006年

情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)取得
大電社に出資、持ち分法適用会社に

● 2007年

バンコク駐在員事務所開設
社内カンパニーとして、立花オーバーシーズホールディングス社を開設



● 2008年

南大阪ビル完成
(南大阪支店及び「立志館」宿泊研修センター・寮)



● 2010年

大電社を完全子会社化
北京支店開設
深圳支店開設



● 2011年

武漢営業所開設
創業90周年



● 2012年

立花オーバーシーズホールディングス社を香港法人として設立
大連営業所開設
高木商會に出資、持ち分法適用会社に
立花デバイスコンポーネント設立



● 2013年

マレーシア営業所開設



● 2014年

青島営業所開設
東京支社を自社ビルに移転
高木商會を連結子会社化



● 2015年

中長期経営計画「C.C.J2200」スタート

● 2019年

高木商會を完全子会社化



● 2020年

タチバナセールス(マレーシア)社設立
八洲電子ソリューションズの全株式を取得し、立花電子ソリューションズとして連結子会社化

● 2021年

創業100周年





【本社】
〒550-8555 大阪市西区西本町 1-13-25
TEL : 06-6539-8800

<https://www.tachibana.co.jp/>

